



くすのき

2019年11月
< Vol. 5 >

～第7回 区民公開講座を開催しました～

2019年9月28日(土)に当院脳神経外科 淵之上医師を迎えて第7回区民公開講座「治せる認知症」～認知症に対する外科的治療～を開催致しました。50名の地域の皆さまにご参加いただきました。講座・質疑応答の一部をご紹介します。

Q1. 治せる認知症なんて存在するのでしょうか？

- ・正常圧水頭症は認知症の原因疾患の約5%を占めており、外科手術で劇的に改善する認知症です。(8割に改善が得られる!!)

Q2. 正常圧水頭症ってどんな病気ですか？

- ・脳室(脳内の部屋)に水が溜まってしまう病気です。歩行障害(小刻み歩行、すり足歩行、転倒)、認知症、失禁などの症状が現れます。

Q3. どんな治療をするんですか？

- ・脳室に溜まった水が体の他の部分(お腹など)に流れるように管を体に挿入します。手術によって9割前後の方が歩行障害が改善すると言われています。

Q4. 歩行障害や認知症があったら、まず脳神経外科を受診したらいいですね。

- ・あれ?と思ったら、早めに当院脳神経外科までご相談ください。
- ・当院健康管理センターでの脳ドック診断もできます!

今後も皆さんに興味を持っていただけるような講座を

続々と計画中です。次回の区民公開講座にもご期待ください!





もの忘れ外来のご案内

我が国では、65歳以上の高齢者の約15%に認知症が存在しているとされています。そして、その数は年々増加傾向にあり、2025年には約700万人に達するとも言われています。

この数は大田区総人口の約10倍に当たります。

認知症はご本人だけの問題に留まらず、ご家族そして近隣の地域全体が関わって解決していく必要があります。早期からしっかりと診断を受け、治療や福祉介入を行っていく事が重要です。

また、認知症には甲状腺機能低下症やうつ病、ビタミン障害などの内科疾患や精神疾患、慢性硬膜下血腫や水頭症などの頭蓋内基質病変に伴うものもあり、これらの多くは早期の適切な治療により改善に至ることもあります。(治療可能な認知症)

もの忘れ外来ではそんな認知症の診断、治療の介入のほか、認知症に関わる家族の方の悩みや相談に対し、お力添え出来るように丁寧にお話を伺い対応に努めております。

些細なことでも“これって認知症かな？”と気になる症状がございましたら、どうぞお気軽に御相談下さい。

内科(脳神経内科) 石川 裕一



もの忘れ外来: 毎週水曜 14:00-16:00

※予約制ですので、まずは内科外来にお問い合わせ下さい。

※普段のかかりつけの先生がいらっしゃいましたら、診断の一助になることがありますので、紹介状をお持ち頂けると幸いです。

※認知症の多くはご自身で自覚できないところに問題があるため、可能な限りご家族や担当ケアマネージャー、福祉職員など、ご本人を良く把握されている方と一緒に受診頂けますようよろしくお願い致します。



認知症ナース会のご紹介

東京蒲田医療センターでは、認知症の患者様に寄り添った看護体制を強化できるようチームで取り組んでおります。

認知症ナース会は外来・病棟の各部署から選出された看護師で構成され、2017年より活動を開始しています。認知症の患者様が、どのようにしたら安全に治療を受けられ、不安なく入院生活を過ごしていただけるか、またご家族にも安心していただけるかという視点でケア方法を検討したり、対応の工夫について情報を共有しています。

ご家族の写真や慣れ親しんだ品物、また時計やカレンダーなどを側に置くことで落ち着ける環境とすることもできますので、ご協力いただく場合があります。

看護師長 松岡 洋子



定例会でケア方法の検討をしています

メンバーは
認知症対応力向上研修を
修了した看護師を中心に
構成しています

今回、認知症の特集ページをオレンジ色中心に編集致しました。オレンジ色は有田焼で有名な酒井田柿右衛門の柿の色に由来し、日本から認知症のカラーとして世界に発信しているのだそうです。厚生労働省の認知症施策推進総合戦略は新オレンジプランと呼ばれ、一般の方も取得可能な認知症サポーターのグッズはどれもオレンジ色です。

この特集を通して少しでも認知症に対する理解が進みましたら幸いです。



認知症サポーターのオレンジリング

中学生の職場体験が行われました

9月25・26日の2日間、出雲中学校の2年生3名が当院へ職場体験に来てくれました。3名はご身内に医療職の方がおられ、今回、職場体験の場として病院を選んだとのことでした。

1日目は看護部の外来・内視鏡・手術室・透析室、内科病棟で、患者さんからお話を伺ったり、血圧測定の体験などを行っていただきました。最後のまとめの会では、「看護師の仕事は働いている場所で行っている仕事内容があった。しかしどこでも患者さんのことを一番に考えられていることがわかった」と話してくれ、短い時間で大切なことを感じ取ってくれたことを担当者として大変嬉しく思いました。

2日目は放射線科や臨床検査室、リハビリテーション科、事務等で体験・見学を行っていただきました。病院では様々な職種がそれぞれの部署で、専門知識をもって働いていることをわかってもらえたと思います。2日間、お疲れ様でした。

副看護部長 山口 朝子



手術室



放射線科 撮影室



リハビリテーション室



独立行政法人地域医療機能推進機構
東京蒲田医療センター

〒144-0035 東京都大田区南蒲田 2-19-2

03-3738-8221(代表)

